

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[漢字検定]

No.

クラス又は班	2年					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	漢検3級をひとつひとつわかりやすく。

教科・科目のねらい(目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字検定3級受検という具体的目標を設定することにより漢字に対する興味を喚起する。</li> <li>毎時行う反復練習や小テスト、漢字検定模擬テストの実施によって漢字知識を定着させる。</li> </ul>
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	漢字練習・小テスト	力だめしテスト(3級) テキスト P35 3級①～P45 予想テスト	25
	5	漢字練習・小テスト	テキスト P46 3級⑥～P57 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級)	
	6	漢字練習・小テスト	テキスト P58 3級⑪～P77 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級)	
	7	漢字練習・小テスト	テキスト P78 3級⑲～P97 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級)	
2 学 期	9	漢字練習・小テスト	テキスト P8 傾向と対策①～P32 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級) 前期終了	30
	10	漢字練習・小テスト	力だめしテスト(3級) テキスト P35 3級①～P45 予想テスト	
	11	漢字練習・小テスト	テキスト P46 3級⑥～P57 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級)	
	12	漢字練習・小テスト	テキスト P58 3級⑪～P77 予想テスト	
3 学 期	1	漢字練習・小テスト	テキスト P78 3級⑲～P97 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級)	15
	2	漢字練習・小テスト	テキスト P8 傾向と対策①～P32 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級)	
	3	漢字練習・小テスト	P45,57,77 予想テスト 漢字検定模擬テスト(3級) 後期終了	

年間予定授業時間数	70
-----------	----

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時 練習ノート、宿題などのチェック</li> <li>毎時 確認テストを実施</li> <li>毎月 漢字検定模擬テスト実施</li> </ul>
----------	---

備考	
----	--

## 年間授業計画

令和4年度・教科[キャリアデザイン]科目[体験Ⅱ]講座名[社会問題研究] No.

学級又は班	2年				
担当者					

単位数	使用教科書・教材
2	プリント・ノート・地理高等地図 帝国書院

教科・科目のねらい(目標)	①現代世界の特色と諸課題を取り上げ、グローバルな見方や考え方を養う。 ②就職希望者が多いことを踏まえ、就職選考における一般常識分野に含まれる基礎・基本的な学習事項の定着を図る。 ③課題への主体的な調査・発表を取り入れながら、主体的に学習に取り組む姿勢や態度を育成していく。
---------------	--

学期	月	指導項目	指導内容	予定時数
前期	4	1年間の学習の進め方とねらい 地図と統計グラフの見方	1年間の学習計画 参考文献の調べ方とまとめ方 地球儀・世界地図を使って地図の見方を理解する。	6
	5	世界の地域別問題について	地域別に宗教・文化・民族・歴史・教育などの違いについて考える。	8
	6	国際紛争と人権	地域紛争の原因と人権問題を考える。	8
	7	富裕層と貧困	地域が抱える格差問題を考える。	6
	9	日本と世界の環境問題	地球温暖化, 自然災害について地域別に考える。	8
	10	エネルギー問題	エネルギーの発達・問題について考える。	4
後期	10	1年間の学習の進め方とねらい 地図と統計グラフの見方	1年間の学習計画 参考文献の調べ方とまとめ方 地球儀・世界地図を使って地図の見方を理解する。	4
	11	世界の地域別問題について	地域別に宗教・文化・民族・歴史・教育などの違いについて考える。	8
	12	国際紛争と人権	地域紛争の原因と人権問題を考える。	6
	1	富裕層と貧困	地域が抱える格差問題を考える。	6
	2	日本と世界の環境問題	地球温暖化, 自然災害について地域別に考える。	4
	3	エネルギー問題	エネルギーの発達・問題について考える。	2
年間予定授業時間数				70

評価の観点・方法	評価の観点は、1 社会的事象に対する意欲・関心 2 社会的事象に対する思考・判断 3 社会的事象に対する技能・表現 4 社会的事象に対する知識・理解 以上の4つを規 準とし、学習内容に応じて重みづけをする。評価方法は、1 授業態度及び出席状況、2 課題への取り組みと提出状況等 3 テーマ学習(レポート等)やグループ学習等の成 果、発表 4 小テストの成績などにより、総合的に評価を行う。
----------	--

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[計算技術検定]

No.

クラス又は班	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	計算技術検定問題集

教科・科目のねらい(目標)	計算技術検定3級合格 計算技術検定3級合格者から2級合格
---------------	---------------------------------

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	四則計算	6数値の四則計算・8数値の四則計算・10～12数値の四則計算 固定小数点方式による3数値の四則計算 浮動小数点方式による3数値、4数値の四則計算	5
	5	関数計算	関数値を含めた4変数～6変数の四則計算 合成関数を含めた4～6数値の四則計算	8
	6	実務計算	平方に比例または反比例する問題 平方根に比例または反比例する問題 順列・組み合わせの計算	8
	7	模擬問題		5
2 学 期	9	四則計算	6数値の四則計算・8数値の四則計算・10～12数値の四則計算 固定小数点方式による3数値の四則計算 浮動小数点方式による3数値、4数値の四則計算	7
	10	関数計算	関数値を含めた4変数～6変数の四則計算 合成関数を含めた4～6数値の四則計算	7
	11	実務計算	平方に比例または反比例する問題 平方根に比例または反比例する問題 順列・組み合わせの計算	7
	12	模擬問題		5
3 学 期	1	模擬問題		7
	2	模擬問題		7
	3	模擬問題		4

年間予定授業時間数	70
-----------	----

評価の観点・方法	普段の授業への取り組み状況 検定試験の合否
----------	--------------------------

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和 4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[マナー検定]

No

クラス又は班	マナー検定(前期)	マナー検定(後期)			単位数	使用教科書・教材
担当者					2	

教科・科目のねらい(目標)	日本の伝統と文化に触れ、正しい礼儀作法を理解・体験し、マナー検定初級の取得を目指す。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	オリエンテーション 立ち居振る舞い	自己紹介・テキスト紹介 立つ、歩く、座る お辞儀(日本人のお辞儀・宗教とお辞儀)	25
	5	立ち居振る舞い 訪問とおもてなし	お辞儀(座位)・和室の使い方 約束・身だしなみ・チャーム・玄関・履物 席順・和室、洋室の違い・手土産・おいとま	
	6	笑顔の演出 会話づくり 電話や手紙	笑顔の大切さ・表情チェック 言葉づかい・言い間違い例・話をスムーズに進めるには 電話のかけ方・手紙の書き方	
	7	テーブルマナー	日常食の基本(箸・配膳等) 日本料理・西洋料理のマナー	
2 学 期	9	楽しいパーティー 冠婚葬祭マナー マナー検定受験	服装・会話・ビュッフェスタイル 袋の書き方・金額等	30
	10	オリエンテーション 立ち居振る舞い	自己紹介・テキスト紹介 立つ、歩く、座る お辞儀(日本人のお辞儀・宗教とお辞儀)	
	11	立ち居振る舞い 訪問とおもてなし	お辞儀(座位)・和室の使い方 約束・身だしなみ・チャーム・玄関・履物 席順・和室、洋室の違い・手土産・おいとま	
	12	笑顔の演出 会話づくり 電話や手紙	笑顔の大切さ・表情チェック 言葉づかい・言い間違い例・話をスムーズに進めるには 電話のかけ方・手紙の書き方	
3 学 期	1	テーブルマナー	日常食の基本(箸・配膳等) 日本料理・西洋料理のマナー	15
	2	楽しいパーティー 冠婚葬祭マナー	服装・会話・ビュッフェスタイル 袋の書き方・金額等	
	3	マナー検定受験	復習	

年間予定授業時間数 70

評価の観点・方法	出席状況 授業レポートの内容 授業態度(積極的に参加しているか。服装はしっかりしているか。等)
----------	---

備考	授業は半年間。前期受講生徒と後期受講生徒に分かれ、内容は同一。
----	---------------------------------

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[トラベル英会話]

No. \_\_\_\_\_

クラス又は班	2年					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	英検分野別10分ドリル 3級

教科・科目のむらい(目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語検定3級の取得を目標とし、英語4技能を育成を図る。</li> <li>旅行先等で役立つ英会話の学習を通して、国境を越えたコミュニケーションの興味・関心を引き出す。</li> </ul>
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら文法事項を確認する。	24	
	5	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら会話文を確認する。		
	6	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら長文の読み方を確認する。		
	7	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら2次試験の問題を確認する。		
2 学 期	9	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 英検過去問題で反復練習する。 前期終了	24	
	10	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら文法事項を確認する。		
	11	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら会話文を確認する。		
	12	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら長文の読み方を確認する。		
3 学 期	1	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 練習問題を解きながら2次試験の問題を確認する。	12	
	2	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 英検過去問題で反復練習する。		
	3	英検3級の問題と解説	ラーニングスケルトンを使用し、語彙を定着させる。 英検過去問題で反復練習する。 後期終了		
				年間予定授業時間数	60

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時 ラーニングスケルトンの語彙学習の結果</li> <li>過去問題の結果</li> <li>隔週 宿題・練習問題への取り組み状況</li> </ul>
----------	--

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[中国語講座]

No.

クラス又は班	中国語講座(前期)	中国語講座(後期)			単位数	使用教科書・教材
担当者					2	中国語 はじめの一步 白水社

教科・科目のねらい(目標)	最新の中国事情を習いながら、中国語の基礎力を身に付け、中国への関心を持つようにする。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	発音	四声、母音、子音、簡体字などを特徴をとらえながら指導する。	25
	5	「あなたは中国人ですか」	中国の教育事情 人称代名詞「AはBである」「不」の声調の変化	
	6	「これは何？」	「何」「誰」疑問詞、疑問文「いの」の使い方 副詞「也」について学ぶ	
	7	「あなたはどこに行きますか？」	中国の高校、大学の様子 「動詞」の文を中心に学ぶ	
2 学 期	9	「自己紹介」	簡単な自己紹介文を書き、中国語で発表する。	30
	10	発音	四声、母音、子音、簡体字などを特徴をとらえながら指導する。	
	11	「あなたは中国人ですか」	中国の教育事情 人称代名詞「AはBである」「不」の声調の変化	
	12	「これは何？」	「何」「誰」疑問詞、疑問文「いの」の使い方 副詞「也」について学ぶ	
3 学 期	1	「あなたはどこに行きますか？」	中国の高校、大学の様子 「動詞」の文を中心に学ぶ	15
	2	「自己紹介」	簡単な自己紹介文を書き、中国語で発表する。	
	3	「まとめ」	まとめ	

年間予定授業時間数	70
-----------	----

評価の観点・方法	
----------	--

備考	授業は、前期と後期に分かれ、内容は同一。
----	----------------------

# 年間授業計画

令和3年度 教科[キャリア技術科] 科目[体験Ⅱ] 講座名[基礎製図検定・機械製図検定]

1/12

学級又は班 担当者	2年				
--------------	----	--	--	--	--

単位数	使用教科書・教材
2	全国工業高等学校協会・機械製図検定問題集

教科・科目の ねらい(目標)	製図の基礎・応用力を身に付けさせる 基礎製図検定の修得を目指す。 機械製図検定の修得を目指す。
-------------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定 時数
1 学 期	4	ガイダンス・演習	授業計画説明 立体図から投影図 投影図から立体図	6
	5	講義・演習	不足線の追記 断面図 補助投影図	8
	6	講義・演習	展開図 投影図	9
	7	講義・演習	過去問題演習	4
2 学 期	9	講義・演習	過去問題演習	8
	10	ガイダンス・ 演習	授業計画説明 寸法記入法	20
	11	講義・演習	断面図 はめあい記号	
	12	講義・演習	機械部品の図示法 各種記号記入法	
3 学 期	1	講義・演習	機械製図検定問題集(立体図・投影図) 各問いについて解説	15
	2	講義・演習	過去問題演習	
	3	講義・演習	過去問題演習	
年間予定授業時間数				70

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席点、授業態度、提出物等を総合的に評価する。</li> <li>・図形作成能力と製図の理解力の評価</li> </ul>
----------	---

備 考	
--------	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[日本語ワープロ検定]

№

クラス又は班	日本語ワープロ検定(前期)	日本語ワープロ検定(後期)		単位数	使用教科書・教材
担当者				2	日本語ワープロ検定試験模擬問題集2・準2級

教科・科目のねらい(目標)	キーボードのローマ字入力がブラインドタッチでできるようにする。 1学年で取得した4級・3級以上の級に合格を目指す。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	キーの入力	ローマ字入力。自分にあった設定の仕方。 タイピングソフトの使用によるブラインドタッチの練習。	25
	5	日本語ワープロ2級・準2級文書	模擬問題集の模範解答の練習。	
	6	日本語ワープロ2級・準2級文書	模擬問題集の文書1～5の練習	
	7	日本語ワープロ2級・準2級文書	模擬問題集の文書6～10の練習	
2 学 期	9	日本語ワープロ2級・準2級文書・速度過去問の練習	模擬問題集の文書模擬試験と速度1～5の練習 日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験受験。10. 模擬問題集の文書模範解答の練習	30
	10	キーの入力	ローマ字入力。自分にあった設定の仕方。 タイピングソフトの使用によるブラインドタッチの練習。	
	11	日本語ワープロ2級・準2級文書	模擬問題集の模範解答の練習。	
	12	日本語ワープロ2級・準2級文書	模擬問題集の文書1～5の練習	
3 学 期	1	日本語ワープロ2級・準2級文書	模擬問題集の文書6～10の練習	15
	2	日本語ワープロ2級・準2級文書・速度	模擬問題集の文書模擬試験と速度1～5の練習 日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定試験受験。2月	
	3	過去問の練習	模擬問題集の文書模範解答の練習	

年間予定授業時間数

70

評価の観点・方法	検定試験の受験を目指すことにより、パソコンの日本語ワープロソフトの有効な利用を通じて、日本語の入力および文書処理能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータ活用能力の向上を図ることを目的とする。よって、評価の観点とその方法は、日頃の授業に対する態度、毎回の課題の提出状況、および、文書処理技術の習得状況により評価する。
----------	--

備考	授業は、前期と後期に分かれ、内容は同一。
----	----------------------

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[パソコン検定]

№

学級又は班	2年					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	P検テキスト

教科・科目のねらい(目標)	電気・電子・通信に関する基礎的な知識を身に付けさせ、実際に活用する能力と態度を育てる。 パソコン検定4級の受験に必要な知識・技術を習得するための学習方法を学ぶ。 検定受験のための学習方法を体験する。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	コンピュータ知識	基本用語の説明 日本語入力システム ファイルとフォルダ 入力装置 出力装置 記憶装置	25
	5			
	6	情報モラル 情報セキュリティ	情報モラルの必要性 情報社会の課題 個人情報	
7	情報通信	インターネット 情報の検索・収集 電子メール		
2 学 期	9	ICT活用した問題解決	情報収集の方法 明確な情報の抽出 情報の整理 関連情報の追加	30
	10		データベース化 解析や設計	
	11	ワープロ	文書の編集 表の作成 表の編集 図の挿入	
12	図の作成 ページや印刷の設定			
3 学 期	1	表計算	操作方法 表計算ソフトの基本用語 グラフの使用 グラフの使用編集	15
	2		計算式の活用 関数の活用 ページの設定	
	3		印刷の設定 ファイルの保存	

年間予定授業時間数	70
-----------	----

評価の観点・方法	それぞれの授業項目に従って、基礎的な知識を理解、習得しているかをみるため必要に応じ、授業中に小テストを行う。それによって、理解の程度を推し量り、難易について考慮する。 検定受験を目標に、パソコン検定に対する興味・関心を持つことが出来たか。また、パソコン検定の習得のための知識・理解が出来たか、積極的な態度で授業に臨んでいたかなどを総合的に判断し評価をする。(授業参加への態度・出席を重視する。)
----------	--

備 考	
-----	--

# 年間授業計画

令和2年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[情報技術検定]

No

学級又は班	2年					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	情報技術検定3級問題集

教科・科目のねらい(目標)	1月に行われる情報技術検定3級の合格を目指す。 プログラミング言語(C言語)を理解し、活用できるようにする。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4			
	5			
	6			
	7			
2 学 期	9		情報技術検定(C言語)3級の合格を目指した内容とする。	15
	10			
	11	流れ図(順次処理) 流れ図(条件分岐) 流れ図(繰り返し)		
	12	C言語(変数・四則計算) C言語(if文, while文) C言語(for文)		
3 学 期	1	検定試験過去問題演習	10月～12月までは、流れ図やプログラミング言語に関する問題を 中心に演習を行う。	20
	2	プログラミング基礎		
	3	プログラミング基礎		

年間予定授業時間数	35
-----------	----

評価の観点・方法	普段の検定試験に対する意欲や課題の提出などを重視して総合的に評価する。
----------	-------------------------------------

備考	
----	--

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[情報処理技能検定]

№

クラス又は班	情報処理技能検定(前期)			単位数	使用教科書・教材
担当者				2	表計算問題集(日本情報処理検定協会)・プリント

教科・科目のねらい(目標)	既存データを指示された内容を基に自ら判断し情報をまとめられるようになる 統計処理の基礎的な知識を身に付ける 情報処理技能検定3級または4級に合格
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定数	
1 学 期	4	表計算ソフトウェア基礎	表計算ソフトウェアと統計学について学ぶ Excelの画面構成と基本操作を学ぶ	4	
	5	表計算ソフトウェア基礎	Excelの関数機能について学ぶ	6	
	6	表計算ソフトウェア基礎	Excelの関数機能について学ぶ	10	
		表計算ソフトウェア応用	過去問や演習問題を繰り返し解く		
7	表計算ソフトウェア応用	過去問や演習問題を繰り返し解く	2		
2 学 期	9	表計算ソフトウェア応用	関数を作成する	8	
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1				
	2				
	3				
				年間予定授業時間数	30

評価の観点・方法	検定試験の結果
	授業への取り組み、態度

備考	
----	--

## 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[色彩検定]

No.

クラス又は班	2学年					単位数	使用教科書・教材
担当者						2	色彩検定公式テキスト、新配色カード

教科・科目のねらい(目標)	色彩検定では、日常あらゆる場面で目にする色彩についての関心を高め、グラフィックデザイン・DTP・建築・ファッションなどの分野での活用例を学習し、色彩検定3級合格程度後の知識・理解を得ることをねらいとする。また、色彩検定(冬期)を受験し、3級合格を目指す。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	ガイダンス	・年間授業の計画 ・色彩検定試験日程、申し込み方法などの概要	5	
	5	色彩検定の概要 光と色 光と色	・光と色 ・色名	8	
	6	色の表示 色彩心理	・色の三属性、マンセル表色系 ・ワークを使った色彩の分類 ・様々な色の組み合わせから心理的作用を学ぶ	8	
	7	色彩調和	・配色の基本的な考え方 ・練習問題を解くこと。	5	
2 学 期	9	ファッション	・ファッション概論 ・ファッションと色彩 ・練習問題を解くこと。	7	
	10	インテリア 環境	・インテリアと色彩 ・環境色彩 ・練習問題を解くこと。	7	
	11	色彩検定直前の演習問題 検定の反省	・色彩検定の演習問題・過去の出題問題を解いて、 ・出題形式に慣れるさせること	7	
	12	トーン概念図の作成	・トーンについての理解を深める	5	
3 学 期	1	カラーダイヤルの作成	・色相並びにトーンについての理解を深める	7	
	2	配色演習	・カラーカードを使った演習	7	
	3	まとめ	1年間を振り返っての反省	4	
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度(出欠席の状況、授業への取り組み)</li> <li>・技能・技術(課題の内容、提出状況)</li> <li>・問題集(解答の内容、提出状況)、小テスト</li> <li>・検定試験の合格状況</li> </ul> 上記の4項目について総合的に評価を行う
----------	---

備考	※検定試験の受験は年1回、11月上旬を予定している。
----	----------------------------

# 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[レタリング検定]

No. \_\_\_\_\_

学級又は班 担当者	2学年					単位数	使用教科書・教材
						2	書体サンプル集

教科・科目の ねらい(目標)	レタリング検定では、日常あらゆる場面で目にする文字についての関心を高め、グラフィックデザイン・DTPなどの分野での活用例を学習し、レタリング検定4級合格程度後の知識・理解を得ることをねらいとする。
-------------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定 時数	
1 学 期	4	オリエンテーション(共通)	・年間授業計画の説明 ・レタリング検定(欧文基本書体の拡大視写)の練習	30	
	5	レタリングの知識・技術の理解			
	6	レタリングの知識・技術の理解	・レタリング検定(和文基本書体表現)の練習		
	7	レタリングの知識・技術の理解	・レタリング検定(フリーハンドによる字体表現)の練習 ・レタリング検定(模試)		
2 学 期	9	レタリングの知識・技術の理解	・レタリングの知識問題	30	
	10	レタリングの知識・技術の理解	・レタリング検定(欧文基本書体の拡大視写)の練習 ・レタリング検定(模試)		
	11	レタリングの知識・技術の理解	・レタリング検定(和文基本書体表現)の練習		
	12	レタリングの知識・技術の理解	・レタリング検定(フリーハンドによる字体表現)の練習 ・レタリング検定(模試)		
3 学 期	1	レタリングの知識・技術の理解	・レタリングの知識問題	10	
	2				
	3	まとめ	1年間を振り返っての反省		
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	・授業態度(出欠席の状況、授業への取り組み) ・技能・技術(課題の内容、提出状況) ・問題集(解答の内容、提出状況)、小テスト  上記の3項目について総合的に評価を行う
----------	--

備 考	
-----	--

## 年間授業計画

令和4年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[危険物取扱者(丙種)]

No.

クラス又は班	2年生			単位数	使用教科書・教材
担当者				2	副教材「丙種危険物取扱者」(向学院)

教科・科目のねらい(目標)	1年間を前期・後期に分け、それぞれにおいて丙種危険物取扱者の資格取得に向けた内容の解説および模擬問題の解説を行う。資格取得を契機として、危険物の火災予防の観点から、異常時の適切な対処法などと関連付けて、広く知識を身につけさせる。丙種の取得を目標とさせる。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	①燃焼および消火に関する基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼に関する基礎知識</li> <li>消火に関する基礎知識</li> </ul>	25	
	5	②危険物に関する法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防法における用語の意味と貯蔵、取扱いの制限</li> <li>製造所等の設置から用途廃止までの手続</li> <li>製造所等における保安制度</li> </ul>		
	6	③危険物に関する法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険物取扱者およびその取扱うことのできる危険物の種類</li> <li>危険物取扱者免状</li> <li>貯蔵所と取扱者の区分</li> </ul>		
	7	④危険物に関する法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造所の位置、構造および設備の基準</li> <li>貯蔵所と取扱所の位置、構造および設備の基準</li> <li>危険物の運搬に関する基準</li> </ul>		
2 学 期	9	⑤危険物の性質ならびにその火災予防及び消火の方法(丙種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>丙種危険物取扱者の取扱うことのできる危険物</li> <li>主な危険物の性質と危険物</li> </ul>	30	
	10	①燃焼および消火に関する基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼に関する基礎知識</li> <li>消火に関する基礎知識</li> </ul>		
	11	②危険物に関する法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防法における用語の意味と貯蔵、取扱いの制限</li> <li>製造所等の設置から用途廃止までの手続</li> <li>製造所等における保安制度</li> </ul>		
	12	③危険物に関する法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険物取扱者およびその取扱うことのできる危険物の種類</li> <li>危険物取扱者免状</li> <li>貯蔵所と取扱者の区分</li> </ul>		
3 学 期	1	④危険物に関する法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造所の位置、構造および設備の基準</li> <li>貯蔵所と取扱所の位置、構造および設備の基準</li> <li>危険物の運搬に関する基準</li> </ul>	15	
	2	⑤危険物の性質ならびにその火災予防及び消火の方法(丙種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>丙種危険物取扱者の取扱うことのできる危険物</li> <li>主な危険物の性質と危険物</li> </ul>		
	3	⑤資格取得のための演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>丙種模擬試験問題</li> </ul>		
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	毎回の授業への出席状況、授業中の参加態度・意欲を基本とし、授業プリント・模擬問題の取組状況、丙種危険物取扱者試験の資格取得状況等を総合的に判断して評価する。
----------	--

備考	乙種危険物取扱者試験について、9月に丙種、3月に丙種の受験を予定している。
----	---------------------------------------